

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとうございます。旧年中は一方ならぬご厚情をいただき、誠にありがとうございました。

さて、銭形グループは、本年、創立 30 周年を迎えることとなりました。これも偏に皆様のお引き立てのおかげと衷心より厚く御礼申し上げます。

介護保険制度開始から 4 半世紀。日本の少子高齢化は当初の予想をはるかに上回るペースで進行しており、地域社会が抱える介護・福祉の問題はより深刻の度を強めておりますが、当グループは、これまでの社業の歩みを省みつつ、この先の時代におきましても皆様から必要とされる事業者で有り続けられるよう、なお一層の努力を積み重ねて参る所存です。皆様には、これからも変わらぬご愛顧を賜りますよう何とぞ宜しくお願い申し上げます。



銭形グループ 職員一同

今年の銭形グループの目標は「突破」

昨年は、「挑戦」というグループの目標テーマを定め、既存事業の更なる拡大と活性化に加え、京都市洛北地域への出店による営業エリアの新規開拓、働き方改革の推進と積極的な人材獲得、社内データ管理システムの構築、ブログや SNS を活用した広報活動など新しいことに果敢にチャレンジした 1 年でした。昨年の取り組みは私たちにとっていわば“種まき”とも言えるものであり、やってはみたものの芽が出なかったものもありましたが、今後大きな成果が期待できる兆しもいくつかは掴み取れた 1 年であったように感じます。

今年、銭形グループが掲げる目標テーマは「突破」。2025 年は介護保険制度と運命を共にする私たち介護サービス事業者にとっては大きな節目の年であり、当グループにとっても創立 30 周年のアニバーサリー・イヤーとなります。これまで長年培ってきた事業の基盤をしっかりと足の裏で踏みしめながら、昨年に掴んだ成果の芽をしっかりと実らせ、いま目の前に立ちはだかる強固な壁を突き破っていく、限界を乗り越えていく、そんな 1 年にしたいと思います。

もちろん、今年も困難な出来事に行く手を阻まれることがあるかと思いますが、今年は迂回路を探すのではなく、社員それぞれが持てる能力と知恵を結集し、創意工夫と団結力で真正面から突破していくことで、数年後に振り返ったとき、「あの年のがんばりがあったからこそ今がある。」と思える象徴的な年になれば嬉しいと考えます。

銭形グループ 代表 上野 眞司

寒い季節も元気に活動中～放課後等デイサービスこまち～

残暑の秋も過ぎ去り、季節はすっかり冷たい風が吹く冬となりました。早いものでもう1年が終わろうとしているこの時期ですが、放課後等デイサービスこまちの子どもたちは、寒さに負けることなく元気に活動を続けています。

お出かけでは、11月16日、吹奏楽団“音楽のとびら”からお招きをいただき、楽団主催の『第3回定期公演』へ音楽鑑賞に行ってきました。招待状をいただきポスターを拝見した際、まず目に飛び込んできたコピーは「すべての人に最高の音楽を届けたい。」というものでした。楽団の代表、上野智聖さんは大学時代に放課後デイサービスで支援員のアルバイトを経験され、障がいのある方が演奏会に行きにくい現状を知ったそうです。その中で、「自分達にできる事は何か？」と考えたとき、「どれだけ騒いでも走り回ってもよい演奏会を開催しよう。」という思いに至り、当初6名のアンサンブルから楽団“音楽のとびら”を結成し活動を開始されました。その後、活動に共感する仲間が続々と増え、現在は吹奏楽やオーケストラ、ジャズバンド等、様々なジャンルで活動する大学生を中心としたおよそ80名の吹奏楽団へと大きく発展を遂げられています。

今回の演奏会は2部構成に分かれており、こまちのメンバーは1部を鑑賞してきましたが、演奏会が行われた右京ふれあい文化会館に到着すると駐車場は他の放課後デイの車で満車の状態で、会場の中も子ども達や引率の職員さんたちでほぼ満席です!! 演奏会では、子ども達のお馴染み、「ジャンボリミッキー」や「名探偵コナン」、「ぼよん行進曲」などの楽曲も演奏してくださり、みんな大喜びです! 演奏中は座席から立ち上がって踊ったり、歌ったり、歌手の方の歌声に手拍子を叩いたり、とても自由で本当に誰もが楽しめる雰囲気の演奏会でした♪



Blog & Instagram 公開中!



毎月、帰りの会の途中で子ども達の誕生日会をしています☆ その月に誕生日を迎える児童の名前を呼び、前に出て来てもらってお祝いをします。毎年、職員からのプレゼントとして手づくり誕生日カードを手渡しています。毎回デザインの違う誕生日カードをつくるので楽しみにしてくれている子もいます♪ 誕生日カードを手渡した後、年齢や目標を言ってもらいますが、子ども達は照れくさそうにしている顔や凛々しい顔など様々な表情を見せてくれます!(^^) 特に目標を言っている時は緊張しながらも、「野球のレギュラーになりたいです。」とか、「宿題を頑張りたいです。」などと頼もしい決意表明してくれます♪ 目標発表の後には、みんなからのプレゼントとして『Happy Birth Day♪』の歌をうたいます(^^♪ 曲が始まると、前に立つ誕生日の子ども達は照れて下を向いたり、ドヤ顔をしたり(笑)と、これまた表情がとても豊かで何とも微笑ましいです。そして、1年1年ひとつずつお兄さんやお姉さんになっていく姿を見ると、職員たちも本当に嬉しい気持ちになるのです☆

(執筆:堀 有希)

短い秋をしっかりと味わいました！～デイサービス銭形～

11月末の5日間、デイサービス銭形では、焼きたてバームクーヘンを求めてクラブハリエ『ラコリーナ近江八幡』へ行ってきました！ここへは2年前の秋にも訪れており、スイーツを愛する人ならこの時季はぜひ行ってみたいお出かけスポットのひとつではないでしょうか？

午前9時30分、利用者の皆さんはデイサービス銭形に着くや否や再び車に乗りこみ、近江八幡に向けて出発です！今年は10月初旬まで異常な暑さが続き、外出は控えめにしてきましたが、久しぶりの遠出に皆さんはワクワクした様子です。京都東ICから竜王ICまで高速道路を走っていると、紅葉しはじめた山の木々の景色が目を楽しませてくれました。「空が広くていい気持ちやねー。」「ようやく山が色づいてきたね～」と、車窓を流れるこの季節ならではの景色を眺めながら、日頃はあまりお話をされない利用者様ともゆったりとおしゃべりを楽しむことができ、職員もほっこりした時間を過ごすことができました。

平日ということもあって道は空いており、車を走らせること1時間半ほどで目的地の『ラコリーナ近江八幡』に到着しました。いよいよ皆さんお待ちかねの焼きたてバームクーヘンとのご対面です！おのおの食べたいものを1つずつ注文して、生クリームがたっぷりのった温かいバームクーヘンや、バームクーヘンがトッピングされたチョコレートシェイクなどを少し肌寒い晴天の下で美味しくいただきました。施設の広々とした庭園には緑の植物がいっぱいで、秋の高い青空とのコントラストがとても目にやさしく心が癒されました。皆さん撮影スポットを見つけては記念写真をパチリ！至福のおやつタイムの後は、職人さんたちがバームクーヘンを焼くところを見学したり、おみやげを買ったりして、ちょっとした旅行気分を楽しんできました。

もちろん甘い物は別腹ということで、ラコリーナで近江八幡名産の赤こんにゃくをあしらったオムライスを食べたり、帰りの車内でお弁当を広げたり、ロードサイドのレストランに立ち寄ったりと、皆さんお昼ごはんはお昼ごはんできっと召し上がっていらっしゃいました（笑）帰り道の県道沿いには近江牛など地元の名産品の看板を掲げたお店もあり、味覚だけではなく視覚でも“食欲の秋”を感じるお出かけとなりました。



今年は大変な猛暑が秋の中頃まで続いたので、紅葉する前に散ってしまうのでは…との前予想もありましたが、「鴨川沿いの紅葉がようやく色づき始めたよ。」との情報を得て、12月3日から上賀茂神社周辺へ紅葉狩りに出かけました。我らがハイエースとミニバン3台を連ねてデイサービス銭形を出発！いつの間にか季節は移ろい堀川通り沿いの街路樹も枯葉を落としています。「今年はなんか秋が短かったなあ。」「もう12月やで。ほんま一年が早いわ～！」などと話しているうちに、窓の外には例年どおり赤やオレンジにしっかりと色づいた鴨川沿いの紅葉の景色が見えてきました。「少し寒いけど、せっかく来たので集合写真を撮りましょう！」ということで、皆さん車から降りて大きな紅葉の木の前で整列です。初冬の凜とした空気と横日のほのかな温もりを肌を感じながら、今年も変わらず綺麗な紅葉が見られたことに何かほっとした気持ちになりました。（執筆：吉見菜穂）

★ 新任スタッフのご紹介 ★



柴田 鉄平(しばた てっぺい)

訪問介護銭形 所属

どんなことも笑顔を絶やさず楽しくやっ
て行ければいいなと思います。精一杯が
んばりますので、どうぞよろしくお願
いします！



土家 直城(つちや なおき)

訪問介護銭形 所属

昨年10月に入社し、ヘルパーとして働
いています。介護の仕事は初めてです
が、一生懸命がんばりますのでよろ
しくお願ひします！



西野 真由(にし の まゆ)

訪問介護銭形 所属

介護施設で務めた経験はありますが、
訪問介護は初めてなので、新たな経
験を積み重ねて成長できればと思
います。精一杯がんばります！



中野 朱美(なかの あけみ)

訪問介護銭形N 所属

笑顔を絶やさず元気に走り回りたい
と思います。至らぬ点があるかと思
いますがご指導ご鞭撻の程よろしく
お願ひいたします。



長井 知(ながい さとる) デイサービス銭形 所属

これまでもデイサービスで働いた経
験はありますが、新たな現場で
1日でも早く業務を覚えて、が
んばって働きたいと思ひます。



ヘルパーつれづれ日記 ～訪問介護銭形/訪問介護銭形N～

「有効求人倍率約1.4倍」、「事業所の倒産過去最多」、「ホームヘルパーは絶滅危惧種」…。このようなネガティブな報道ばかりが飛び交う訪問介護の業界ですが、私にとってこの職業は心底楽しくやりがいの持てる仕事です。ぜひ、皆様にもヘルパーの仕事の素晴らしさを知っていただきたいと思ひ、以前に訪問介護銭形で行った職員へのアンケートの中の質問の1つ、「ヘルパーの醍醐味とは何ですか?」の回答の一部をご紹介します。

「利用者様の人生に寄り添えること。」「色んな方の生活に触れられること。」「人と人を繋ぐ大事な役割。」「何度も訪問させていただく中で、少しずつ利用者様の思いや考えが理解でき共感できるようになること。」「人相手の仕事なので難しさもあるが、そこでしか味わえない楽しさがある。」「人生経験豊富な利用者様に様々なことを教えてもらえること。」「人生の先輩や様々な経験をしている方との出会いがあり、命との関わりの中で、自分自身の成長に繋がること。」「どういう言葉がけて動いてもらえるか、どういう聴き方で情報や思いを引き出すか、会話の技術を学べること。」「誰ひとりとして同じではない。一人一人の生き方や人生の歩み方は違うと実感できたこと。」「利用者様がより良い生活を送るために少しでもお手伝いができていると思えること。それによって喜んでいただけること。」「関わりの中で利用者様が生きる力を復活していただけること。」「利用者様と自分との1対1の仕事の中で、信頼や信用を得たり、喜びや感謝の声をいただけること。」「忙しく大変なことも多いが、ふとした時に笑顔を見せて下さったり、感謝の言葉をいただくことで、また頑張ろうと思えること。」…。

以上のような回答が現役のヘルパーさんたちから挙がりましたが、皆さんはどうお感じになりましたでしょうか。私たちの事業所のヘルパーは、令和6年12月現在で約80人。下は21歳から上は75歳まで、つい最近資格を取って仕事を始めた人もいれば、この道20年以上の超ベテランもいて年齢や経験は様々ですが、上に列挙した仕事に対する意識は、ヘルパーなら誰しもが共感できるものだと思います。今年は介護保険制度誕生から25年目の節目に当たる年ですが、これまで私たちがヘルパーとして体感してきた仕事の楽しさや面白さ、甘酸っぱい経験やほろ苦い教訓、はぐくんできた情熱や職人魂は私たちにあっての宝物であり誇りです。「絶滅危惧種」などという世間の揶揄も何のその。私たちは、「唯一生き残るのは、変化する者である。」というチャールズ・ダーウインの言葉に勇気づけられながら、社会や世の中の変化に適応し、利用者様の介護ニーズや地域が抱える福祉課題と真摯に向き合い、この先の時代もヘルパーという奥深い仕事の醍醐味を噛みしめ続けてゆきたいと考えています。

(執筆:高橋 弘江)

『銭形 Times vol.59 冬号』

発行元: 銭形グループ 銭形 Times 編集室 上原啓輔・佐々木一喜・谷口明奈・吉見菜穂・堀有希
〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33 株式会社銭形企画
TEL : 075-353-4899 (代) FAX : 075-354-3037 URL : <https://zenigata-group.jp/>